

VOISTAGE マルチメディアカード基本ソフトウェア Ver.7.00 SP2

リリースノート

Patch 17

株式会社NTTデータ 2008/06/27

1. 変更内容一覧

以下のプログラムの不具合修正および仕様変更を行いました。

Patch17

- ・特定パターンのノイズが混入したダイヤルパルスを正しく認識できないことがある。

Patch16

- ・VS-411MBにおいて、FAX 送信および FAX 受信がエラーになった以降、該当の VS-411MB 全回線での呼び制御(発着信、切断)、音声制御(音声再生、音声録音)、FAX 制御(FAX 送信、FAX 受信)が全てエラーになることがある。これは特定の FAX 機(*)へ FAX 送受信を繰り返すと発生する。

* 32byte を超える FIF 部分を持つ非標準能力(NSF/NSC/NSS)を返す FAX 機

Patch15

- ・VS-411MB での JBIG ファイルの FAX 送信において、JBIG 受信能力のない FAX 機へ送信した場合、MMR/MR/MH で送信することがあり、このとき受信側の画像が白黒反転する。

Patch14

- ・サイズの異なるページを含むファイルを FAX 送信した場合、ページ間ネゴシエーションが行われず、FAX ファイルの画像が乱れることがある。

- ・VS-411MB において、呼び出し中に、OnHook メソッドを実行した場合、以後発着信できなくなるがある。

Patch13

- ・以下のいずれかの衝突が発生した場合、RecognVoice メソッドまたは VoicePlay メソッドの実行結果が数十秒間返らないことがある。

* 音声認識処理中の MethodCancel メソッドによる停止または認識タイムアウトによる停止と、回線切断が衝突した場合

* 音声再生処理中の MethodCancel メソッドによる停止と、回線切断または DTMF による停止が衝突した場合

本事象を基に以下の派生事象が発生することがあります。

* この事象が発生して実行結果が返らない間に次の着信があった場合、着信応答できなくなる。

* この事象が8回発生すると、以後発着信できなくなる。

* この事象が発生して、音声ファイルを指定した RecognVoice メソッドと VoicePlay メソッドを実行すると、音声再生できなくなるがある。

Patch12

- ・VS-412MB での ECM ありの FAX 送信において、64 キロバイトちょうどのデータ量となる FAX 画データを、特定 FAX 機(送信側からの PPS-NUL および PPS-MPS、PPS-EOP、PPS-EOM に対して PPR を返し、データ再送後も PPR を返す仕様の FAX 機)に送信した場合、戻り値がエラー(-1)となる。

Patch11

- ・VS-412MB での ECM ありの FAX 送信において、256 バイトの倍数のデータ量となる FAX 画データを、特定 FAX 機 (PPS-EOP、PPS-MPS、PPS-EOM に対して PPR を返す仕様の FAX 機) に送信した場合、戻り値がエラー (-1) となる。

Patch10

- ・Windows XP SP2 または Windows Server 2003 SP1 上で、StageWriter を終了すると、アプリケーションエラーが発生する。
- ・VS-4601MC-S において、SIP 内線を設定した場合、コアサービス設定ツールでのカード情報が表示されない。
- ・StagePalette でカテゴリーファイルを作成した場合、上限 (11 バイト) を超える長さのファイル名を付与できてしまい、その結果、カテゴリーファイルで設定した値が有効とならず、既定値で動作する。
- ・VS-4601MC-S でのひかり電話使用時に、VOISTAGE CoreService を再起動せずに、DTMF を 8751 桁以上受信した場合、該当回線からの音声再生が無音となる。

Patch9

- ・発着信が衝突した場合、以降の該当チャンネルでの発着信がエラーとなることがある。
- ・VS-412MB での FAX 送信において、EOP 送信後に CRP を受信した場合、送信に時間がかかることがある。
- ・VS-411MB での FAX 受信において、自らが送出した V.21 制御信号 (CFR・MCF・PPR) のエコーを遅延して受信することにより、FAX データが受信できず、戻り値がエラー (-1) になることがある。
本事象は、IP 網等に接続されている FAX 機と通信する場合に発生する。

Patch8

- ・VS-412MB での FAX 受信において、自らが送出した V.21 制御信号 (CFR・MCF・PPR) のエコーを遅延して受信することにより、FAX データが受信できず、戻り値がエラー (-1) になることがある。
本事象は、IP 網等に接続されている FAX 機と通信する場合に発生する。
- ・VS-412MB において、ISDN 網との Link が確立しているにもかかわらず、Link ランプが点灯しない。

Patch7

- ・VS-412MB において、i ナンバーによるアプリケーションの振り分け機能が正しく動作しない。

Patch6

- ・FAX 登録ツールで 1 ファイル以上の画像が表示されている場合、新たにエクスプローラから FAX ファイルを選択しても自動的に表示できない。
- ・VOISTAGE スクリプトの IF 命令において、変数および定数の値に 10 桁かつ、2147473647 以下の数値 (0000000000 ~ 2147473647) を指定して実行すると、アプリケーションがアベンドする。
- ・VOISTAGE スクリプトの OPENTBL 命令において、カテゴリパラメータ「DB_Create」に 1 を設定し、OPENTBL 命令のパラメータ「DBNAME」に存在しない MDB ファイルを指定して実行しても、MDB ファイルが新規作成されない。
- ・TifToFax メソッドにおいて、実在しない TIFF ファイルを変換元ファイルに指定した場合、アプリケーションが

アベンドする。

- ・VS-412MB または VS-4601MC-S において、G4-FAX 機などの非制限デジタル通信で着信する毎に、ハンドルが3つずつ増加する。
- ・VoicePlay メソッドにおいて、WAVE ファイルを再生中に、DTMF 入力により停止した場合、本来は VoicePlay メソッドの戻り値が0となるべきところが、戻り値がエラー(-1)になることがある。
- ・CPU 負荷が高い状態で LinkPlayer メソッドを実行した場合、アプリケーションがアベンドすることがある。
- ・アプリケーションを終了せずに、LinkPlayer メソッドと Terminate メソッドを繰り返し実行するとメモリリークする。
- ・CPU 負荷が高い状態で LinkPlayer メソッドを実行した場合、実行結果が返らず、フリーズすることがある。
- ・StagePlayer 使用時に、同じ回線を使うプロセスの起動を要求した場合、WAITRING 以外の処理中であってもプロセスが起動することがある。
- ・スクリプトエンジンを、タスクマネージャおよび画面上の×ボタンから終了した場合、アベンドすることがある。
- ・TextToWav、TextSpeech、TxVoicePlay メソッドにおいて、1500 バイトを超える文字列を指定して実行すると、アプリケーションがアベンドする。
- ・VS-411MB において、再起動後に不特定の回線が着信不可となることがある。
- ・VOISTAGE CoreService が応答なし状態の場合、LinkPlayer メソッドの実行結果が、数十分間返らないことがある。
- ・VS-411MB での FAX 送信において、EOP 送信後に CRP を受信した場合、送信に時間がかかることがある。
- ・LinkPlayer メソッドがエラーとなった場合、以降の LinkPlayer メソッドも継続してエラーとなることがある。
- ・VS-4601MC-S でのひかり電話使用時に、ダイヤルイン番号によるアプリケーションの振り分け機能が正しく動作しない。
- ・VS-411MB での発着信衝突時に、発信者番号およびダイヤルイン番号が取得できないことがある。
- ・FaxSend メソッドにおいて、送信ファイル名に実在しないファイルを指定して実行すると、アプリケーションがアベンドする。
- ・VS-4601MC-S において、レイヤ1でのメッセージ送信エラーが発生した場合、自己復旧できないことがある。
- ・発着信衝突時に、LineCallSate プロパティの値が更新されず、AnswerCall メソッドを実行しても着信応答できないことがある。

Patch5

- ・VS-412MB において、再起動後に不特定の回線が着信不可となることがある。
- ・VS-412MB において、レイヤ1でのメッセージ送信エラーが発生した場合、自己復旧できないことがある。
- ・VS-412MB または VS-4601MC-S での着信時に、アプリケーションが10秒以内に網に対して応答を返さない場合、発信者に網トーカーが聞こえることがある。
- ・VS-4601MC-S でのひかり電話使用時に、通信中となっている電話番号に着信させてもビジーにならない。
- ・VS-4601MC-S でのひかり電話使用時に、音声認識機能のバージョンが動作しない。
- ・VS-411MB または VS-412MB において、USB エラーが発生した場合、イベントログに出力されるログのレベルが ERROR(エラー)となっていない。
- ・VS-4601MC-S において、ファームウェアの書換えを行うと、コアサービスが起動できないことがある。

Patch4

- ・VS-411MB または VS-412MB より複数ページを FAX 送信した場合、圧縮モード(符号化)が変更されていないにもかかわらず、ページ間ネゴシエーションを行ってしまう。(フェーズDの後にフェーズCへ戻るべきところが、フェーズDからフェーズBへ遷移する)
- ・VS-411MB または VS-412MB での FAX 受信において、特定 FAX 機から SuperG3 で FAX 送信した場合、V8 手順 (SuperG3 通信を開始するための手順) 中に相手応答なしで、通信エラーになることがある。

Patch3

- ・Getsetupinfo メソッドにおいて、G4-FAX 機などの非制限デジタル通信で着信した直後に、発信者番号が非通知の着信があった場合、前回着信時の発信者番号が取得されることがある。

Patch2

- ・TifToFax メソッドにおいて、モトローラ形式かつ3ページ以上の TIFF ファイルを変換元ファイルに指定した場合、戻り値がエラー(-1)となり、TIFF ファイルを FAX ファイルに変換できない。
- ・VS-411MB または VS-412MB での FAX 送信において、モトローラ形式かつ3ページ以上の TIFF ファイルを送信ファイルに指定した場合、FaxSend メソッドの戻り値がエラー(-1)となり、FAX 送信できない。
- ・トーン送出レベル(Beep 音の音量)を、VS-402MC および VS-403MC と同等となる以下の初期値に変更した。
アナログ:+14dB、デジタル:+8dB
- ・VS-411MB または VS-412MB での FAX 送信において、1 ページの TIFF ファイルを送信した場合、または 2 ページ以上の TIFF ファイル、FAX ファイルを FAX 送信中に途中終了した場合、¥VOISTAGE¥TEMP フォルダにワークファイルが残ることがある。

Patch1

- ・VS-411MB または VS-412MB での FAX 送信において、FAX 通信プロトコル上で、NSF 等オプションフレームに続いて DIS を受信した場合、正常に FAX 送信が終了しているにもかかわらず、FaxSend メソッドがエラーになる。(FAX 途中終了理由:51)
- ・VS-411MB または VS-412MB での着信において、前回通信時に FAX 送信の開始と同時に相手から切断された場合、以降の着信に回答できないことがある。
- ・VS-411MB または VS-412MB での FAX 送信において、FAX モデムで復旧可能なエラーが発生した場合、正常に FAX 送信が終了しているにもかかわらず、FaxSend メソッドがエラーになる。
- ・FAX 受信において、FAX_RECV_LIMIT_PAGES(FAX 受信ページ制限)と同ページ数受信すると、最終ページ受信時にエラーとなる。
- ・FAX 受信において、FAX_RECV_LIMIT_PAGES(FAX 受信ページ制限)が設定され、それを超えるページ数を送信されたとき、指定ページ数の受信が完了した時点で切断処理を行なうが、このとき受信応答(MCF 送信)をせずに切断することがある。そのため送信側で送信失敗となる場合があり、送信完了枚数が一定にならない。

2. インストール手順

以下インストールの手順を示します。

1. VOISTAGE関連のアプリケーションをすべて終了させてください。

2. サービス一覧から「VOISTAGE CoreService」を停止してください。

次のサービスは、「VOISTAGE CoreService」の停止に伴い自動的に停止しますが、時間がかかる場合がありますので、必ず停止を確認してから、次の作業を行ってください。なお、ご使用のカードの組み合わせによっては、これらのサービスが起動されていない場合もあります。

- ・「BDMGRSVC」サービス
- ・「BDEXSVCB?」サービス群 (BDEXSVCB9、BDEXSVCBA、...)
- ・「PRISVCB?」サービス群 (PRISVCB0、PRISVCB1、...、PRISVCB8、PRISVCB9、...)

3. ファイルを上書きしてください。

モジュール一覧にある対象ファイルを、対象フォルダへ上書きコピーしてください。

BDEXSVCB0.EXE およびPRISVCB0.EXEは、対象となるボックスの台数に合わせて、ファイルをコピーしてください。

コピーするファイル名は、上記項番2で停止したサービス名と同名となります。

例)VS-411MBの場合

VS-411MB台数=1: BDEXSVCB8.EXE

VS-411MB台数=2: BDEXSVCB8.EXE、BDEXSVCB9.EXE

VS-411MB台数=3: BDEXSVCB8.EXE、BDEXSVCB9.EXE、BDEXSVCBA.EXE

例)VS-412MBの場合

VS-412MB台数=1: PRISVCB8.EXE

VS-412MB台数=2: PRISVCB8.EXE、PRISVCB9.EXE

VS-412MB台数=3: PRISVCB8.EXE、PRISVCB9.EXE、PRISVCBA.EXE

例)VS-4601MC-Sの場合

VS-4601MC-S枚数=1: PRISVCB0.EXE

VS-4601MC-S枚数=2: PRISVCB0.EXE、PRISVCB1.EXE

VS-4601MC-S枚数=3: PRISVCB0.EXE、PRISVCB1.EXE、PRISVCB2.EXE

4. ドライバの更新を行ってください。

元の製品バージョンが、Ver.7.00 sp2(patchなし)、Ver.7.00 sp2 patch1～patch8でかつ、

マルチメディアボックスVS-411MB、VS-412MBを使用している場合は、ドライバの更新を行う必要があります。

以下の手順に従って、更新を実施してください。

また、元の製品バージョンが、Ver.7.00 sp2 patch9以降の場合は、すでにドライバが最新状態ですので本作業は必要ありません。

1. [デバイスマネージャ]画面を表示し、[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]を選択してください。

2. USB接続機器の一覧から現在ご利用のVS-411MBかVS-412MBを選択してください。

複数台利用されている場合は、以下の手順3-8を台数分実施してください。

3. 右クリックして表示されるメニューから、「ドライバ更新」を選択してください。

4. windows updateへの接続は「いいえ、今回は接続しません」を選択してください。(次へ)
 5. 「一覧または特定の場所からインストールする」を選択してください。
 6. 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択してください。(次へ)
 7. 「次の場所を含める」のパスに、本patchの¥VOISTAGE¥ADDIN¥03¥CTSDEV¥DRVフォルダ配下にある各製品名のフォルダを選択して下さい。(次へ)
 8. 更新を実施してください。
-
5. "VSVer.reg"ファイルを実行し、バージョン情報を変更してください。
-
6. サービス一覧から「VOISTAGE CoreService」を開始してください。サービス一覧から「VOISTAGE CoreService」を開始してください。

3. モジュール一覧

下記のモジュールが今回リリースするモジュールになります。

対象フォルダ	%VsHome%\ADDIN\03\CTSDEV\DRV\VS411MB (*1)		
対象ファイル	vs411mb.inf	2007/09/27 17:09	
	vs411mb.sys	2007/09/27 17:03	
	VSCO411MB.dll	2005/10/24 16:23	

対象フォルダ	%VsHome%\ADDIN\03\CTSDEV\DRV\VS412MB (*1)		
対象ファイル	vs412mb.inf	2007/09/27 17:09	
	vs412mb.sys	2007/09/27 17:03	
	VSCO412MB.dll	2005/10/24 14:06	

対象フォルダ	%VsHome%\ADDIN\03\SVC (*1)		
対象ファイル	BDEXSVCB0.EXE	2007/09/26 14:46	
	CTBoxMon.exe	2007/04/24 11:58	
	PRISVCB0.exe	2007/09/26 10:31	

対象フォルダ	%VsHome%\ADDIN\03\TOOLS (*1)		
対象ファイル	PRIFRM1.BIN	2007/06/27 15:20	
	PRIFRM8.BIN	2007/06/27 15:20	
	PRIIMG2.BIN	2007/08/07 14:22	
	SB1DSP04.BIN	2008/05/08 18:43	
	SB1FRM04.BIN	2008/05/30 08:52	
	VS411USB.BIN	2007/09/26 18:07	
	VS412USB.BIN	2007/09/26 16:46	
	I64DSP05.BIN	2008/06/16 16:55	
	I64FRM05.BIN	2008/01/08 23:40	
PRIDSP8.BIN	2008/06/18 13:28		

対象フォルダ	%VsHome%\EXEC (*1)		
対象ファイル	VSACTX21.ocx	2007/08/30 11:26	
	VSCSVTOL.exe	2007/10/23 14:43	
	VSENGINE.exe	2007/09/25 20:54	
	Vsfaxset.exe	2007/08/29 17:14	
	VSMCSTA.dll	2007/09/25 18:13	
	VSMLCAPC.dll	2007/09/25 18:13	ActiveXCTクライアントに必要
	VSMNTAPI.dll	2007/09/25 18:13	
	VSMNWAPC.dll	2007/09/25 18:13	ActiveXCTクライアントに必要

	VSMS100.chm	2007/12/05 16:21	
	VSMS100.dll	2008/02/22 14:31	
	Vsstgwtr.exe	2007/12/18 15:22	
	VSSUPER.EXE	2007/08/30 12:18	
	Vstools.chm	2007/12/10 10:38	
	VSTOOLS.exe	2007/12/21 12:34	
	VSVOIFAX.DLL	2007/08/29 16:06	

対象フォルダ	%VsHome%\%Language (*1)		
対象ファイル	StagePlayer0411.dll	2007/09/07 10:01	
	VSTOOLS0411.dll	2007/12/17 10:57	

対象フォルダ	%WinDir%\%SYSTEM32 (*2)		
対象ファイル	VSADAVAl.dll	2008/02/21 16:45	
	VSCCommonData.dll	2007/09/25 18:12	
	VsCommonLib.dll	2007/09/25 18:12	
	VsConfig.dll	2007/09/25 18:12	
	VsCoreSvLog.dll	2007/09/25 18:12	ActiveXCTクライアントに必要
	VsFramework.dll	2007/09/25 18:12	
	VsHealthCheck.dll	2007/09/25 18:12	
	VSMMLCAPS.dll	2007/09/25 18:13	
	VSMNDLSC.dll	2007/09/25 18:12	
	VSMNWAPS.dll	2007/09/25 18:13	
	VSSCRCommonData.dll	2007/09/25 18:12	
	VsSCRConfigLib.dll	2007/09/25 18:12	
	VSSRVAIC.dll	2007/09/25 18:12	
	VSSRVLDC.dll	2007/09/25 18:12	
	VSSRVMAN.exe	2007/09/25 18:13	
	VSSRVMSC.dll	2007/09/25 18:12	
	VSSRVNDC.dll	2007/09/25 18:12	
	VSSRVRMC.dll	2007/09/25 18:12	
	VSSRVSCC.dll	2007/09/25 18:13	
	BDEXVO.DLL	2007/07/19 17:02	
	BDTRC.dll	2007/03/30 15:26	
	BDVO.dll	2007/08/27 20:20	
	ICXCOM.DLL	2007/03/30 15:08	
	PRICOM.DLL	2007/06/07 13:42	
	PRIMGR.dll	2007/07/27 10:31	
	PRIVO.DLL	2007/12/10 10:26	

	PSTCOM.DLL	2007/03/30 13:29	
--	------------	------------------	--

*1:表中のディレクトリ表記について

・%VsHome%: VOISTAGE 基本ソフトウェアのインストール場所、”C:¥VOISTAGE” など。

*2:表中のディレクトリ表記について

・%WinDir%: Windows XP や Windows Server 2003 では”C:¥Windows”。

ドライブはOSの場所により異なります。各環境をご確認ください。